

2012年3月13日

公共空間へ適用する音環境技術

－ Smart Sound Space －

中央大学大学院理工学研究科 博士課程 有光哲彦
中央大学理工学部 教授 戸井武司

(10分 教授 戸井武司)

1. 最新の音研究 中央大学理工学部精密機械工学科 音響システム研究室

(20分 有光哲彦)

2. デジタルサイネージにおける音環境の課題
 - － 国外におけるサイネージの利用
パーティション型, ボード型, ウオール型, 空間型の広告
3. デジタルサイネージへ適用する音環境技術
 - － 高品質なサウンドシステム
 - － 多様なサウンド駆動デバイス
ダイナミックスピーカ, TLFスピーカ
振動アクチュエータ, 超磁歪素子
超音波スピーカ, Multi-cell Micro-transducer Array
 - － スマートサウンドスペース
目的の機能を有する音環境
4. スマートサウンドスペースの要素研究事例
 - ① スマートサウンドスペースのシステム
生体のモニタリング, コンテンツの生成, 音環境のモニタリング
 - ② サウンドコンテンツ
音源(リズム音)の違いに基づく生体反応および知的生産性の変化
 - ③ 視覚と聴覚の調和
色彩と音の印象ずれに基づくストレス反応
5. まとめ
 - － デジタルサイネージにおける音環境創り